

次は、引っ越しにより、目標としていた高校へ行けなくなつたことが原因で、不登校気味になつた中学3年生の男の子のインタビューです。

Q——「人の目を気にしてやりたいことができない」について、友達の目が気になることはある？
A——そんなことはない。

Q——友達の目は気にならないけど、「友達は自分の事を理解してくれていますか」って質問で、「あまりそう思わない」っていうのはどうして？
A——友達としやべったりする時間がないから。

Q——友達つて何人くらい？
A——5人くらい。

Q——その友達は小学校からの友達？それとも中学校から？
A——お父さんの仕事の都合で小学校5年の時に岡山へ転校して、去年の今頃（2014年9月）に滋賀に戻つてきて、そつから色々あって。

Q——小学校の友達も何人か分かる人いるけど、前とはちょっと変わつたりするかな。

Q——人の目を気にして出来ないことはありますか？
A——あんまりないです。ハッキリしている性格なので、イヤなことは「イヤ」って言えます。断ることも気にはなりません。でも、頼みごとはあまり出来ないんですね。中学だと地元の友達ばかりだけど、高校だと範囲も広くて噂がすぐに広がるからあまり言えないです。
Q——両親は、あなたのことをわかつてくれていますか？
A——わかつてくれるなあつて感じます。いつも「あなたが決めなさい」と言つてくれます。大学進学するかどうかについても、「どうする？」と言われただけで、「大學へ行きなさい！」と強制されることはありませんでした。

Q——あなたが最近考へていること、感じていることを詳しく教えていただけますか？
A——周りの影響つてすごく受けたなあと最近よく思うんです。友親も私が大学へ行くなんて思つ



Q——行きたいところに行けなくなつたんだね。今はそれを立て直してあるような時期かな。目標は見つかってきてるの？
A——なんとなく見つかってきてる。

Q——では次に両親は自分のことをよくわかつてくれると感じるか。『ややそう思う』の理由に「たまにすれ違うから」つてあるけど、このすれ違つてなに？
A——例えば、外へ食べに行つて飲み物を選ぶときに、いつもオレンジジュース頼むのに、たまに別のがきたりとか。「なんでオレンジジュースじゃないの」つて。学校を休んでたときは、高校のことがあつて勉強できなくなつてきて、でも「勉強しろ、勉強しろ。」つて言つてきたりとか。

Q——それは友達が原因？
A——それはない。岡山のときに目標にしてた高校があつたけど、滋賀に來たから目標とか全部なくなりつて。それで遅刻して学校行けなくなつてきた。

Q——勉強しろ、勉強しろ。つて言われる、どんな気持ち？
A——もう勉強したくないのに、そうやつて言われるのがちょっと腹立つたりしたかな。

Q——今の自分に満足してますか
という質問で「80点」のは、低かったのが上がつてきた状態？
A——うん。

Q——失敗したときのイメージを「次のチャンス」つて書いてるよね。詳しく述べてくれる？
A——例えば、失敗したら次のためには「何が良くなかつたか」とか、そういう研究を自分でしたら次だいたい出来るようになるから。

Q——研究はいつから始めたの？

A——小学校6年生くらいから。

Q——そのキッカケは？
A——公文に行つて、英検受けたいなつて思つて。最初に受けた時はタイミング悪くて、風邪ひいて（笑）。そのまま受けたから、点数がすごいことになつた。

Q——そのキッカケは？

A——だから、これからも同じようになんばれそつと思うのかな。

Q——公文に行つて、英検受けたいなつて思つて。最初に受けた時はタイミング悪くて、風邪ひいて（笑）。そのまま受けたから、点数がすごいことになつた。

Q——公文に行つて、英検受けたいなつて思つて。最初に受けた時はタイミング悪くて、風邪ひいて（笑）。そのまま受けたから、点数がすごいことになつた。